

令和元年度 第4回 第3次栗東市食育推進計画策定会議 会議録要旨

日 時	令和2年2月7日（金） 午後1時30分～午後3時10分
場 所	栗東市役所2階 第1会議室
出席委員	田中優委員（会長）、増田江利子委員、鵜飼周太郎委員（副会長）、富田文代委員、杉田聰司委員、大橋一天委員、廣瀬國子委員、山内亜紀子委員、竹橋貴美子委員、秋山直哉委員、前原美幸委員、本間由樹委員、泉千春委員、山元美千子委員
欠席委員	山内宏美委員
事務局	学校教育課長補佐、幼児課長、幼児課担当、学校給食共同調理場所長、学校給食共同調理場担当、農林課長、農林課担当、子ども・健康部長、子育て応援課主幹、健康増進課長、健康増進課長補佐、健康増進課担当2名
事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 市民憲章唱和</li> <li>3. 挨拶</li> <li>4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) パブリックコメントの結果について</li> <li>(2) 第3次栗東市食育推進計画（案）について</li> <li>(3) 第3次栗東市食育推進計画ダイジェスト版（案）について</li> </ol> </li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉会</li> </ol>

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 挨拶

- ・会長が挨拶を行った。
- ・事務局より傍聴者が3名居られることを報告した。

4. 協議事項

会 長：この会議は原則公開となっている。会議の公開について、自由闊達な意見交換がで

きなくなる協議事項の場合や、会議の公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められる協議事項の場合は非公開とすることとなっている。本日の協議事項について、非公開とすべき協議事項はあるか。

- ・意見なし。これにより、本日の会議はすべて公開となった。

(1) パブリックコメントの結果について

- ・事務局が資料の説明を行った。

会 長     パブリックコメントについてもう一度確認すると、最初に食品ロスの削減に関するご指摘があった。これに対し、やはり重要だということで計画書の文言を変えている。また、No. 42にあるように「食品ロス削減推進事業」を追加して対応していこうと考えたのが一点。

二点目は、カルシウム摂取量のことについてご指摘があった。これに対しては、平成30年9月より中学校へ給食を拡大し、牛乳の提供なども始まっているため、今後改善されていくだろう、ということかと思う。

三点目が、調理体験の確保について。これもお弁当作りだけで捉えるのではなく、他の多様な機会を捕まえて調理体験を続けていこうということ。

最後に、給食のことが非常にご意見として多かった。これは前回も私から言ったかもしれないが、今回私たちが議論しているのは、栗東市の食育推進の計画なので、給食をどうするか、給食のあり方の検討を真正面からしているわけではない。ただ、食べる中で小中学校での給食、あるいは給食センターの位置づけというのは、当然ながら無視できない。これだけパブリックコメントでもご意見があったということは、しっかりと計画の中で文言として残していこうと、私自身が事務局にお願いしたところである。そういった文言を残すことで、次期に向けて、今後、給食のあり方についての検討を、その専門の場でしていただければと考えている。以上四点がパブリックコメントを受けてのポイントの整理だが、ご質問、ご意見等はあるか。

委 員     私は今、安全・安心な農作物を育て、給食に農産物の供給をしている。子どもたちのための安全・安心な食物を供給する姿勢で、一貫して取組をしてきた。前回、お弁当の実施について他市の様子を聞いたところ、「他市にはお弁当がない」

との答えだった。学校給食の立場から見ると、特に子どもに対する食事の提供については、今日非常に重要視されている。特に貧困問題もある社会情勢の中で、子どもたちにおいしい、安全な学校給食を供給するのは教育、行政の使命だと思う。我々もそれを願い、色んな食材を供給しており、その立場から、願いが反映されるべきだと思う。食育は、次の世代を担う子どもにとって、特に親の責任であり、行政の責任でもある。中学校給食開始と同時に給食センターが新築されたのだから、これを機会に週5日の給食にするのは当たり前で、お弁当を週に1度やると言う行政の説明には納得できる中身がないと思う。

もう一つは、昨年の12月の議会で、学校給食のお弁当持参が問題になっている。先般の広報の議会報告を見たら、市当局の答弁が、子どもが希望しているからとある。子どものアンケートを採ったら、子ども議会で「お弁当のほうがおいしいからやって欲しい」という声があったからする、と言う市長の言葉だと。そもそも、学校給食で1日お弁当持参の日をつくるかどうかも含めた食育の問題について、この会議において今後の計画を立てようという、まだ結論が出ていないときに、議会の答弁で、市長が「やります」と、お弁当日の継続についての結論を先に言うのはおかしいのではないか。だから、この問題については納得できない。

会 長 安全・安心な食物の提供をこれまでやってきた立場としてのお考えを述べられた。安全・安心な食べ物を使って子どもを育てていくのは、行政、親の責任であるというのはごもっともだと思う。この会議の場は議会ではないので、採決を採って、賛成反対かというものではない。だから、委員が納得しかねる部分は、今言われたように議事録にははっきり残し、次の議論につないでいかないといけないと思う。私は栗東市に住んでいないので、外から眺めて、一学者として意見を述べるなら、給食のことを計画の中に「週4日で行く」とは書いていない。当然ながら、お弁当作りという中で、暗に週5日の給食にはなっていないというようなことが言われている。私自身は、パブリックコメントで給食実施を望む声があがっているということをしかりと受け止め、今後につないでいくということしか、この計画の策定会議ではできないと思っている。今ご意見もあったので、担当課から補足をお願いしたい。

事務局 日頃は学校給食のために、食育ファームを通じて安全で安心な食材をご提供いただきありがとうございます。委員が言われるように、当然子どもたちの給食につ

いては、安全・安心、そして栄養バランスが取れた給食を第一に考え、給食を提供している。その中で、経過的事業にはなるが、平成27年に新しい給食センターを建てるにあたり、建設準備委員会等が開かれる中で、色々な市民の意見を取り入れて、協議、議論がされてきた。最終的に、中学校給食を開始すること、そして、1日のお弁当日を残して継続していくことが決定した。旧の給食センターは昭和48年に建設され、それ以降人口増ということで昭和50年代当初から1日のお弁当日を設けると言う形で給食が提供されている。そういった歴史的な経過も踏まえて、色々な議論がされて今日に至っていると考えている。今後については、議会の意見や、この策定会議の検討を踏まえ、協議を進めていきたいと考えているので、ご理解をお願いしたい。

会 長 計画書で言うとP37(2)③だと思う。パブリックコメントをかける前の文言は、「お弁当の日は小学校中学校で週1日は継続していくことを含め」とはっきり置かれていた。これを書いているという事は、週4日だということを宣言していたが、これだけパブリックコメントで意見を受けたので、ここを外して、「学校や地域、家庭など様々な機会をとらえて、今後も子どもたちの調理体験を増やすことが重要です。」と変えた。同じく、計画案の3ページでは、「週5日の給食実施を望む声も上がっています。」というところをもって、我々のこの会議としてのメッセージを送っていく、と私は理解している。

## (2) 第3次栗東市食育推進計画(案)について

- ・事務局が資料の説明を行った。

委 員 「悪化して」を「低下して」に変えたところは、「悪化」という言葉をあまりよくないと捉えるのであれば、P30も下にある表自体が「D 悪化」となっている。P31の真ん中、P34の表、P36の表にも「悪化」という言葉があるので、揃えるのであれば揃えた方が良くと思う。

会 長 「悪化」という文言を変えるのであれば、P31はご指摘いただいたが、図表のところだけではなく、本文もチェックしていただく必要があると思う。事務局の方で漏れのないようお願いしたい。

(3) 第3次栗東市食育推進計画ダイジェスト版(案)について

- ・事務局が資料の説明を行った。

委員 感覚的なものかもしれないが、パッと見たときに目がちらつく感じがして、逆に読みづらい印象を受けた。工夫されているのはすごくよくわかるが、文字が書いてあるバックは無地だと読みやすい。色が付いているのは構わないが、無地だと読みやすいような印象を受けた。縦縞とか入っていない方が良いのではないかと思われる。

会長 テキストが落ちている背景が、少し見にくいと言うご意見。事務局でパターンを組んでみて、見やすさを考えていただきたい。

委員 「野菜料理を1皿増やそう」のところで、1皿は大体70gと記憶している。不足が35gになっているのは前進していると思う。「半皿」というイメージではどうか。以前は、1皿70gと言っていた。すごく前進していると思ったが、相変わらず「1皿増やそう」となっている。

事務局 身近な目標としては、2分の1皿が現実的な数字かと考えたが、理想としては350gにとどまらず、もう少し増えていくと良いと言う意味も込めて1皿と言う形にしている。

委員 色々な情報を、これだけのところに凝縮をしていただいて大変分かりやすいと思う。色々な部分があるが、例えば、自分だったら野菜がどれくらい必要か、こういうときにはどうしたらいいか、とか、どこかに何かたずねたいときの窓口があれば、これを手にした方にとってわかりやすいかと思った。

会長 一応、編集で健康増進課となっているが、問い合わせ先が編集と併記しておけるのであればそうしてもらえるとよい。

私から一つ、先程の事務局からの説明で、かつての第2次計画のダイジェスト版を作って、食育月間の6月に、新入園児、新小学1年生、新中学1年生に配っていたとのことだった。新入園児だと親が読むということかもしれないが、どうせ配るのであれば、小学1年生が読んでわかるようなものものではないかという気がした。小学校中学校の食育がかなり大事だという話がここまでの議論でもあった。中学1年生は、当然これを読んで普通は理解できると思うが、小学1年生にもわかるような工夫、もう少しひらがなを使って、イラストを使って、圧縮

をしたようなものがあったとしてもいいのではないか。ここまで一生懸命作ったのだから、小学校のご協力などもいただき、うまくやって欲しい。

では、最後に、お一人ずつ、ここまでの議論を振り返って、あるいはここまでで言い漏らしたことも含めて、お一人2、3分ずつでメッセージをいただければと思う。

委員 ダイジェスト版はすごく可愛いと思った。それと、先ほども言ったが、野菜の摂取量について啓発を進めてきた中で、こうやって摂取量が増えているのを見て嬉しいと思った。給食の件も、かなりの方から色々な意見があり、保護者の方が切に望んでいると思うが、この場ではなく、そういう場で取り組んでいかれたら良いのではないかと思った。

委員 こうやって、しっかりと市が食育について頑張っているということを委員になって初めて知った。このダイジェスト版についても可愛い、センスがいいと思ひ、とてもよく考えてくださっていると思った。また、今はチラシを配るときにはQRコードを載せるようにしていて、ダイジェスト版に載せるのもとても良いアイデアだと思った。そして、先ほど会長が話されたが、小学生の子ども向けのひらがなやイラストが多い、わかりやすいものがあればそれはそれでいいと思った。

委員 私の個人的な感覚かもしれないが、資料の2のP30、34で「各園では」という表記が出てくる。園というのは幼稚園や保育園で、他の施設を想像される方はおられないと思うが、そのあたりが気になった。

今回、この策定会議に参加し、子ども食堂を中心として色々と動いている中で、ヒアリングやアンケートで大変有益な資料をいただいた。この機会に、委員や各課の方と連携し、食に関して、一緒に考えていければと思う。

委員 栗東市の給食は栗東市のものを使っていて、子どもたちは幸せだと思う。しかし、1日お弁当があることにより、栗東市の食材が食べられない。貧困の問題もあってお弁当の日にお弁当が作れない保護者の方は、菓子パンを持たせている。夜もご飯を作れないおうちの子があったりする。その子たちは200円、300円を持ってお弁当を買って命をつなぐことになっていると聞いた。給食が唯一、健康で良いものを摂取できると思うので、出来る限り週5日の給食を実施していただきたいと思う。子どもたちはお弁当をととても喜んで「おいしかったよ、お母さん」と言

ってくれるが、それは子どもたちが好きなものを入れてあげるから。だからおいしいお弁当が良い、と言うのだと思うが、子どもたちが嫌いな食材も給食であれば、「これ食べられた。すごいでしょお母さん」と喜んで自慢して帰ってくる。「僕ににんじん食べられるようになった、にんじんは赤いんだよ」としてくれる。給食は本当にありがたいし、素晴らしいと思う。夜は習い事等で、家で一緒に食事をとれないこともある。そうするとお弁当の日があれば昼はお弁当、夜もお弁当。子どもには、皆で一緒に同じものを食べることを体験して欲しいと思うが、昼も夜もお弁当では、何かちょっと違うのではないかと思っている。この場で言うのは違うかもしれないが、週5日の給食を是非考えていただきたい。保護者はそれをどこに訴えていいのかわからず、保護者で集まった時に、「中学校は給食になったけれども1日お弁当は続くんだね」という話をしている。本当に市長にこの言葉が届くのであれば、市長への手紙にも書くが、保護者として、お弁当の日は無くして欲しいというのを誰に訴えていいのかわからないというのが現状。もう一度しっかりと、栗東市の方でも考えていただければと思う。

委員 この食育推進計画を、このようにたくさんの方で議論をしながら丁寧に策定されているということに、驚きとともに感心した。私もその中に参加し、市の現状など、色々なデータ、新しい情報も見せていただきありがたいと思っている。食べることは人間にとって本当に大事な基本なので、そのところを市として大切に進めていこうとしているということで、学校では、子どもの食育に力を入れ、保護者にも啓発をする中で、すくすくと子どもたちが安全で栄養のある食べ物をとって成長してくれるように進めていきたいと改めて思った。また、給食やお弁当については、どちらにもメリット、デメリットがある。現場でもそういったことに関心を持ちながら、子どもたちの食育を見守っていききたいと思う。

委員 私自身この食育推進計画のこういう場でのお話や、色々なご意見を聞くのは初めてで、栗東市に来てまだ間もなく、こういうやり方もあるのだと初めて知った。ダイジェスト版はとても見やすいと思うのと、保育園バージョンでももう少しわかりやすいものがあれば良いかと思った。あと、給食の話もあったが、実際保育園でも土曜日だけお弁当。土曜日にお子さんのお弁当の中身を見たら、コンビニのお弁当をそのまま移している方がやはり何名もおられる。月一回のお弁当と言っていたが、小学校中学校でももしかしたらそういう方がおられるのではないかと

思った。子どもは食べることが仕事なので、しっかり栄養のあるものを毎日食べられたら、生きる力にもつながると思う。

委員 先ほどのQRコードの話で、HPに計画をアップするのであれば、ダイジェスト版から計画本文が直接見られるようなQRコードがついていたらいいかと思った。

この会議に4回参加し、給食という話がたくさん出てきて、今後どのように変わっていくかはわからないが、色々深めていっていただければという想いでいっぱい。給食は色々なご家庭があると思うので、週5日実施も、色々なご家庭の様子を見ると考えるところではある。中学生という立場から見ると、そこから先、自分で選んでいくことが増える歳になると思う。自分で選んでいく力を育てることも食育かと思ったときに、給食で与えられるだけではなく自分で選ぶ力をつけるためにも、自分で買ったり選んだりと言う機会も必要なのかな、でも5日間給食がある方が栄養バランスは整っていくのだろうな、と、なかなか難しいと思っていた。そこについてはまた今後も栗東市の方でたくさん話をしていただければと思う。

委員 私も小学校は給食で育ち、中学生はお弁当だった。本当に色々なご意見があると思って聞かせていただいた。調理体験というのが、やっぱり子どもたちの記憶にかなり残るのではないかと思う点がある。できたら、この食材を使ってこの一品を作ってみませんか、というのがあれば良いのではないかと思う。親子で作れるような形を取っていただくコーナーがあれば良いのではないかと少し思った。

委員 食育推進計画は分厚く、中身が盛りだくさんで、たくさん字も書いてあるのでなかなか全部を読むのは大変だと思っている。もちろん、これはいらぬというのではなくて全部大事だと思う。思いつきではあるが、この中でイチ押しを選んで、「今回は栄養バランスを考えましょう」というようにキャンペーンとして押して、1枚のチラシのようなものにまとめ、一目でわかるようなものができればわかりやすいのではないかと思った。そこから入り口として、これってなんだろう、と思って食育に入ってくれる方もいるかもしれないので、そういうものがあると良いかと思った。

委員 自分から見ると、今までは食育として明確なものではなくて、そこら辺のものを食べとけ、漬物だけだ、と育ってきた。改めて食育ということで役所は色々なこと

を、教育から農業まで跨いで、方針が変わっているというのが素晴らしいし、心から食育そのものに少しでも力になればと思う、せめて食べ物の供給だけはしようということさせてもらっている。今後も、体力の続く限り少しでも子どもたちのために食材を供給したいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

委員 先ほどの議題の中でお話しすれば良かったが、一点だけ。P51のNo.55 J A栗東市「わんぱくスクール」の事業について、内容の上から4行目に「食の安心・安全」とあるが、読んでいたら、「安全・安心」で統一されていたので、ここも「安全・安心」で統一したらどうかと思う。

私は仕事で農作物の生産者の皆様と食育、農業について考えていて、この食育推進計画に様々な内容が載っていることを実感させてもらった。また、食育ファームの会の中でも、給食の重要性というのは非常に大きなものがあるということで、皆様関心を持っているので、今後とも検討をして、学校給食の週5日間導入について、継続して協議をしてもらえたらと思う。

委員 私自身は栗東に来て3年。すごく自然が溢れて良いところだと思う。若い世代が多く、私は内科だが、小児科なのか、というくらい若い方がおられる。今回、市のさまざまな担当部署の方がこれだけ集まり、食育を徹底的に協議され、このような計画を作っていてすごく良いと思った。私が個人的な立場でなにかできるとしたら、このダイジェスト版はとても良いと思うので、子ども用を作成したらどうかという意見もあったが、是非大人用を作成したらどうか。今、提示していただいているものは高齢者の方に配布したらどうか。例えば、医療でいうと、医師会HPにリンクできるようにしたり、小児科の休日診療所のHPは結構見られているので、そういうところからも飛べるようにしたら良いと思う。もっと幅広く市民の方に情報提供をすればいいのではないかと思った。

委員 この会議に参加して、まず、こういう会があること自体知らなかったし、食育の推進計画をこのように立てていると知り、勉強になった。また、このような会議に参加させていただいたことをとても光栄に思う。健康に食べるということは、健康な歯が必要なので、違う計画で載っていると思うが、歯科の内容がもっと入ったら良いと思った。

会長 実際に計画書の中で修正を、という意見もあったので、また事務局で直していただきたい。また、かなり建設的なご提案もあった。QRコードをつけて本文に飛

べるようにする、医師会や休日診療所のHPに載せて広く情報提供をする、など。あるいは、キャンペーンを張るというのも一つの手かな、と。例えば、強化月間ではないが、令和2年度〇月はこの計画にあるこの取組について打ち出して、集中的にやる。それを一枚のチラシなどを使って啓発実施に努めていくのも非常に面白い。ただ、このダイジェスト版をもっとうまく活用すべきだという意見だと思うので、保育園バージョン、小学校バージョン等、当然、高齢者の方にも読んでいただけるように、各世代に周知を図っていくことが大事だと思う。そして、当然ながら、学校給食の話。これについて、会長として確認させてもらいたいが、市長から諮問を受けたわけではないので、諮問に対して答申するわけではないということではよいか。

事務局 このような形で策定会議を設置し、委員の皆さんにご協議を賜り、その原案をもって、最終計画とする。会議は今日で最後になるが、これをもって、基本的には計画策定という形を取らせていただいている。

会 長 会長名で、この計画案で、表書をつけることはできるか。市長に返すのではなく、事務局に返す形になる。

事務局 第1回目の市長挨拶で、ご協議いただく中で計画案を策定いただきたい、とお願いした。最終的に今日のこの内容結果を受け、最終計画という形を取らせていただく。また、後日、市長に内部的に報告し、議会に報告する。

委 員 何を言いたいかという、かなり、各委員の中からも週5日の給食実施について切実な意見があった。会長名で、そういうことが非常に大切だと、今後に向けて是非議論をしていくべきだと思う、という一文を表書、要するに付帯事項のようなものに入れることが可能なら、入れさせていただきたい。パブリックコメントでも意見が多く、今日一巡した各委員の中でもその意見が多かった。会長名として出せるのであれば、精一杯の、私どもの会議体の意見表明としては非常に重要なことだと思う。一文を添えることができるなら、ご検討いただきたい。この件については会長預かりにしてよいか。

(意見なし)

では、事務局とその件は調整し、内容について今日ご指摘があった点も含め、最終的には私と事務局で確認したい。

## 5. その他

- ・事務局より各委員へ、計画策定にご協力いただいたことに謝辞を述べた。

## 6. 閉 会

- ・副会長が挨拶を行った。

以上